



尾張名所圖會

後編

五

25











尾張名所圖會後編卷之五

目錄 葉栗郡

- |                        |         |   |
|------------------------|---------|---|
| 葉栗郡鮮                   | 黒田里     | 正徹法師黒田里 <small>ト</small> 託居 <small>ト</small> の岡 |
| 黒田神社                   | 一柳氏城跡   | 劍光寺   |
| 善龍寺                    | 善光の古事   | 寶光寺   |
| 黒田古戰場                  | 北方里     | 舊善光寺古跡  |
| 宝行寺                    | 名産篠簞    | 北方渡   |
| 里小牧渡                   | 養願寺     | 東郷侍從  |
| 玉の井古覽                  | 加茂明神社   | 玉の井里  |
| 及川古渡                   | 割田繪     | 玉井助重舊宅念敬寺                                       |
| 但言利部神 <small>ニ</small> | 結城縞織屋の岡 | 開田氏古城址  |
| 大正神社                   | 極樂寺     | 佐手原御厨   |
| 意足居士                   | 極樂寺廢跡   | 榮泉寺   |
|                        |         | 大野神社  |
|                        |         | 河田渡   |
|                        |         | 光明寺   |
|                        |         | 大毛郷   |
|                        |         | 三宝寺   |
|                        |         | 妙性坊   |
|                        |         | 大日社   |
|                        |         | 玉の井舊跡   |





|                           |        |        |        |
|---------------------------|--------|--------|--------|
| 葉栗人磨塚                     | 小塞郷    | 小塞神社   | 小塞宿祢   |
| 尾関石見守                     | 壽福寺    | 養蠶の園   | 妙光寺    |
| 石刀神社                      | 宮田天王社  | 上郡田圃栗林 | 宮田松    |
| 河沼舊郷                      | 魚入天神社  | 文永寺    | 千間猿尾   |
| 草井大猿尾                     | 名産年奠   | 村國里    | 曼陀羅寺   |
| 曼陀羅寺 <small>て軍議の園</small> |        | 名産飛保茶  | 河俣上天神社 |
| 勝宝寺                       | 運善寺    | 若栗舊郷   | 若栗橋    |
| 若栗神社                      | 宇夫須那神社 | 八竜社    | 淺井骨接   |

葉栗郡

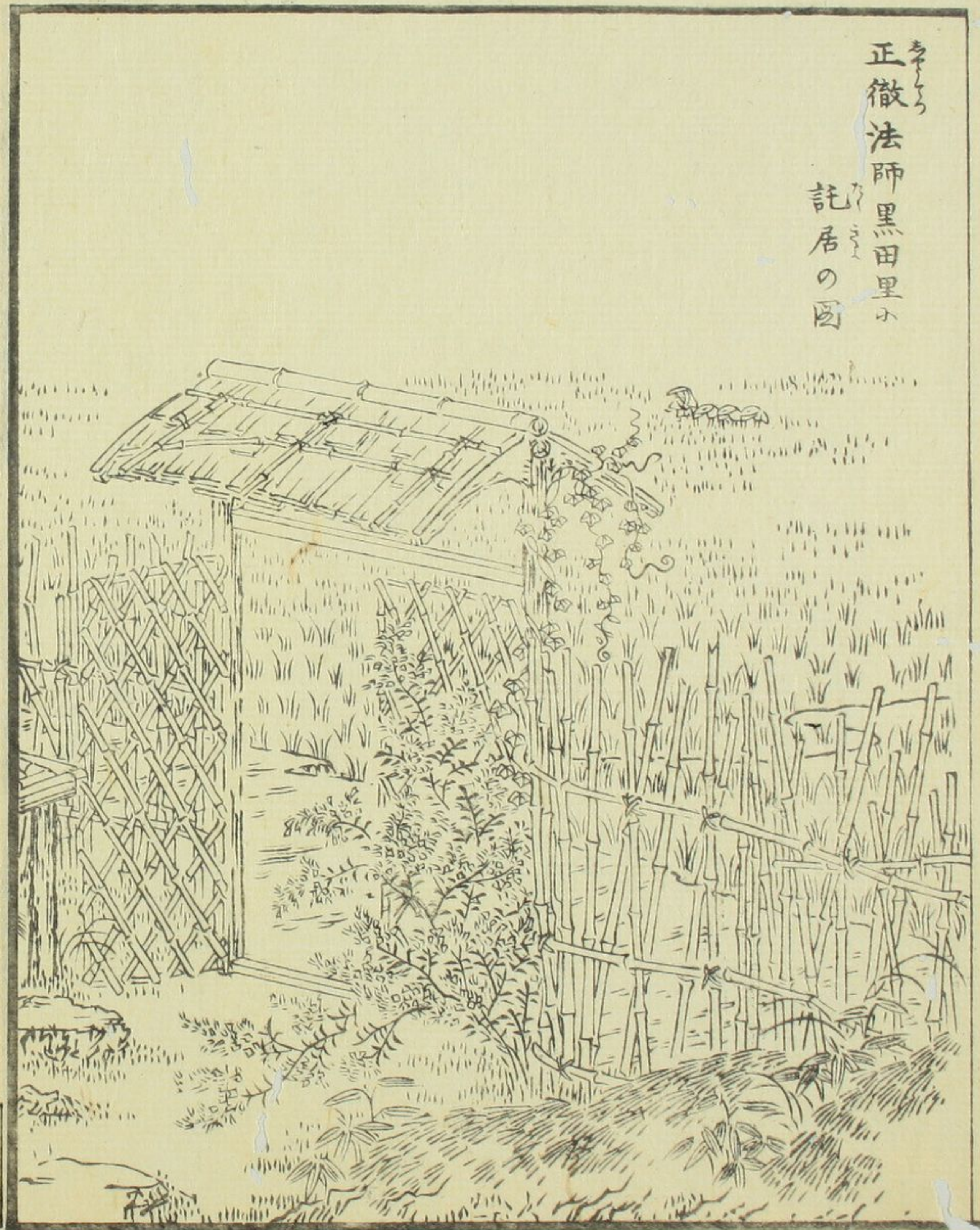
當郡ハ國のうちの乾の極なる地と東西ハ長く南北ハ偏より民部  
 省同帳ハ葉栗郡行程東西二十餘里南北二十二里七十歩ハ  
 と古制の六町一里とてとらり天正十二年北の方ハ晉川  
 のありと數十村を美濃に附屬せしむる今これありあり  
 其美濃かつさなる地ハ羽栗郡とてきて葉文字と羽文字と  
 四至東ハ丹波郡に隣り南より西ハ中島郡に接し北  
 より乾一とらり本吾川と境と成山あり平均ハ中島多  
 少郡あり

黒田里

岐年内各節の中島郡一官の北西のりりて同ト少節の村ありむり官たて  
 黒田里ハ同宿よりいへり此村ハ名を南東鑑に建久元年十二月頼朝公上洛ゆきの  
 系に十七日丁酉黒田と見ゆる同書建長四年三月三品親王宗尊將軍南東御下  
 向の休泊とありしに廿二日丙午書黒田と見ゆり和歌の多所の一ハ松葉  
 集秋の寐覚等につらりと又とと松枝庄とて西園寺殿の御ありしが公經の  
 大王の所北山に四圍とて主浄堂と創建りしが其地資永朝臣の領ありけり  
 此尾張の松枝なり増鏡小曰ハ石の浄又ハ石の浄なり右大臣



正徹法師 黒田里の  
託居の図



正徹法師字の清嚴松月菴  
と号し東福寺の書記なり  
近代のふりしりて世にあり  
と一和名あり長福二年  
五月九日寂す其遺稿と  
草根集と名づ一傍禪閑  
魚良公其序とありと  
著す所愈草情嚴茶活  
正徹收記正徹千首正徹  
百首寺なり



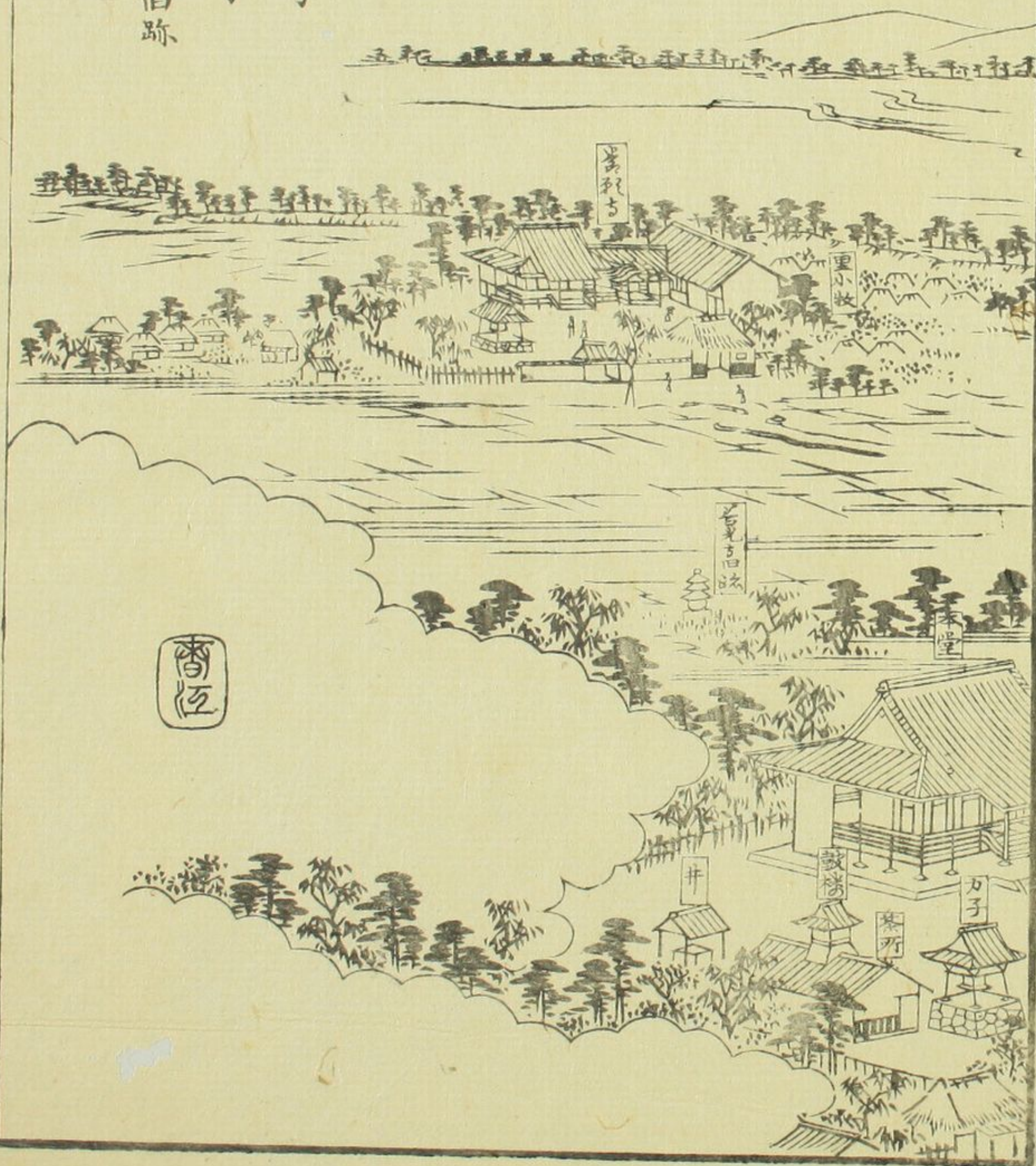
香



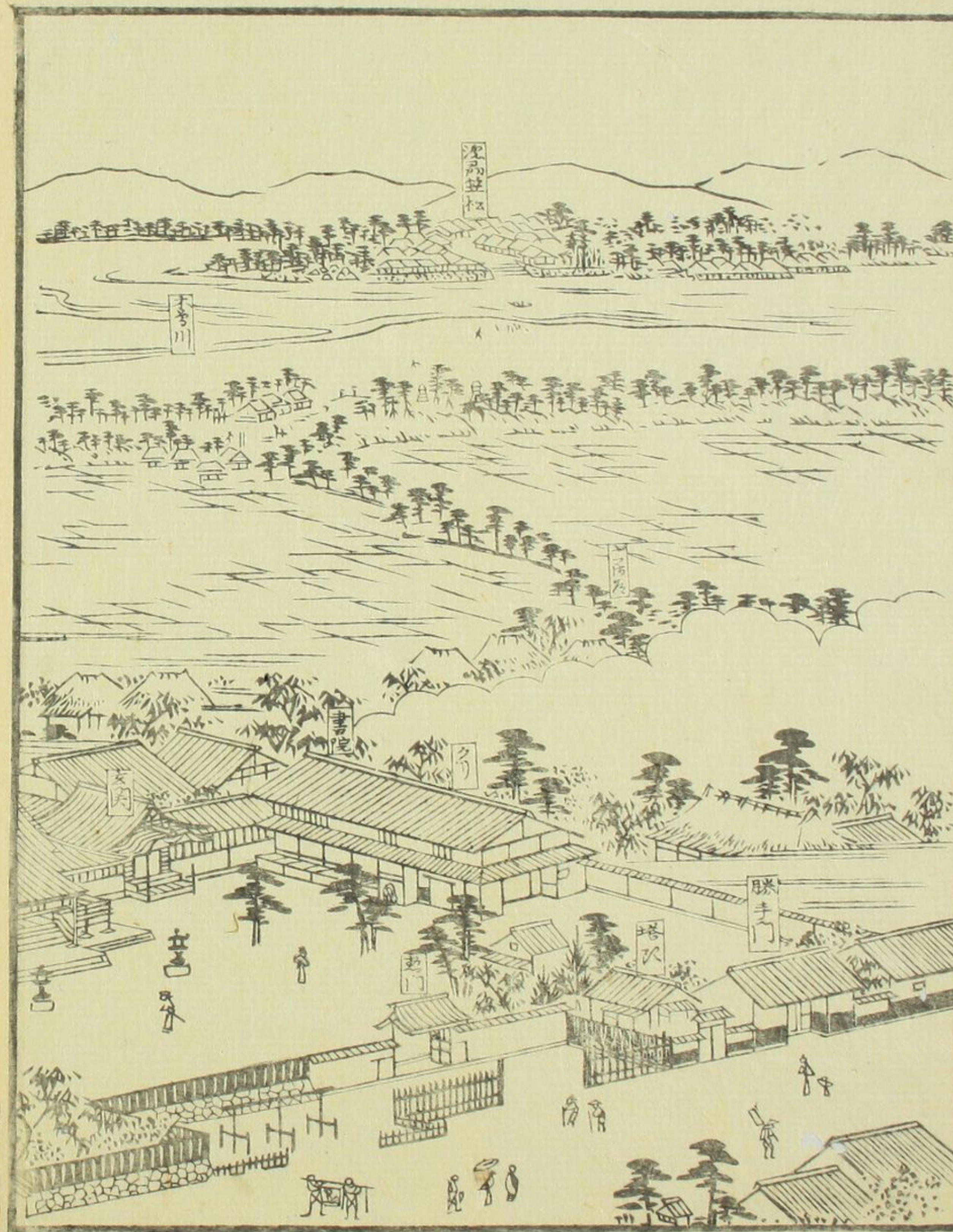




善竜寺  
 養願寺  
 善光寺堂旧跡  
 笠松渡



香江



五ノ三



のむしお流す中ぐわいひよりて日とつ波云云卯月の下の四日例の浄堂にあり  
 たるに夕つたふれはるや人もすしむむ町内かぐ人もね不漸の香れ煙かすうら  
 かりもさきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさき  
 のむしお流す中ぐわいひよりて日とつ波云云卯月の下の四日例の浄堂にあり  
 たるに夕つたふれはるや人もすしむむ町内かぐ人もね不漸の香れ煙かすうら  
 かりもさきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさき  
 のむしお流す中ぐわいひよりて日とつ波云云卯月の下の四日例の浄堂にあり  
 たるに夕つたふれはるや人もすしむむ町内かぐ人もね不漸の香れ煙かすうら  
 かりもさきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさき

瑞林山寶光寺

同村のあり海清宗系妙心寺末  
 番ちハ古書に云々梵刹あり

蓮萊州室光禪寺花時之會而余不得預其席  
 後一日遇之主人求予詩欲雜諸彦之篇授筆  
 應厥命登雪則室光之鎮守白山之廟号也  
 万里居士

梅花不盡藏

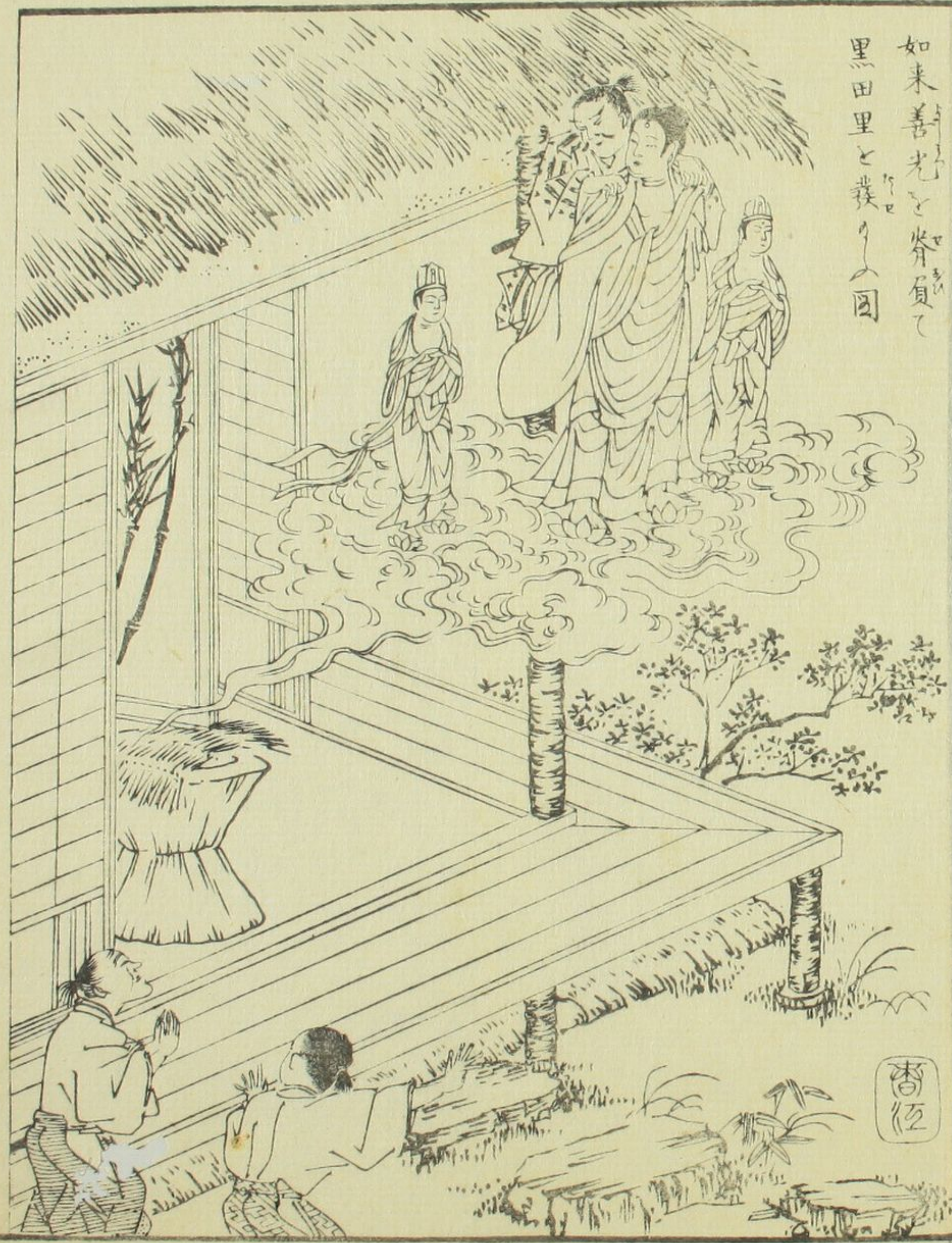
處聊折野梅添一枝

若栗山河野善龍寺

同村のあり一向宗東派系妙  
 本山庄末河せ九門徒の其一なり

寺傳小云番ちハハハハ

同郡河島にわけて専修坊といひ天台の道場ありしりの親書  
 聖人あふ化導の初祐道とて信聖人のゆ依一才子とあり  
 今の宗小わくといふよりて今ハ祐道とり門々岡山と次本尊阿  
 弥陀の本像ハ行基并の作といひ傳ふ且今も門を関東下  
 向の時ハあき次番ち本尊とてつらう古例ハ大谷遺跡録に



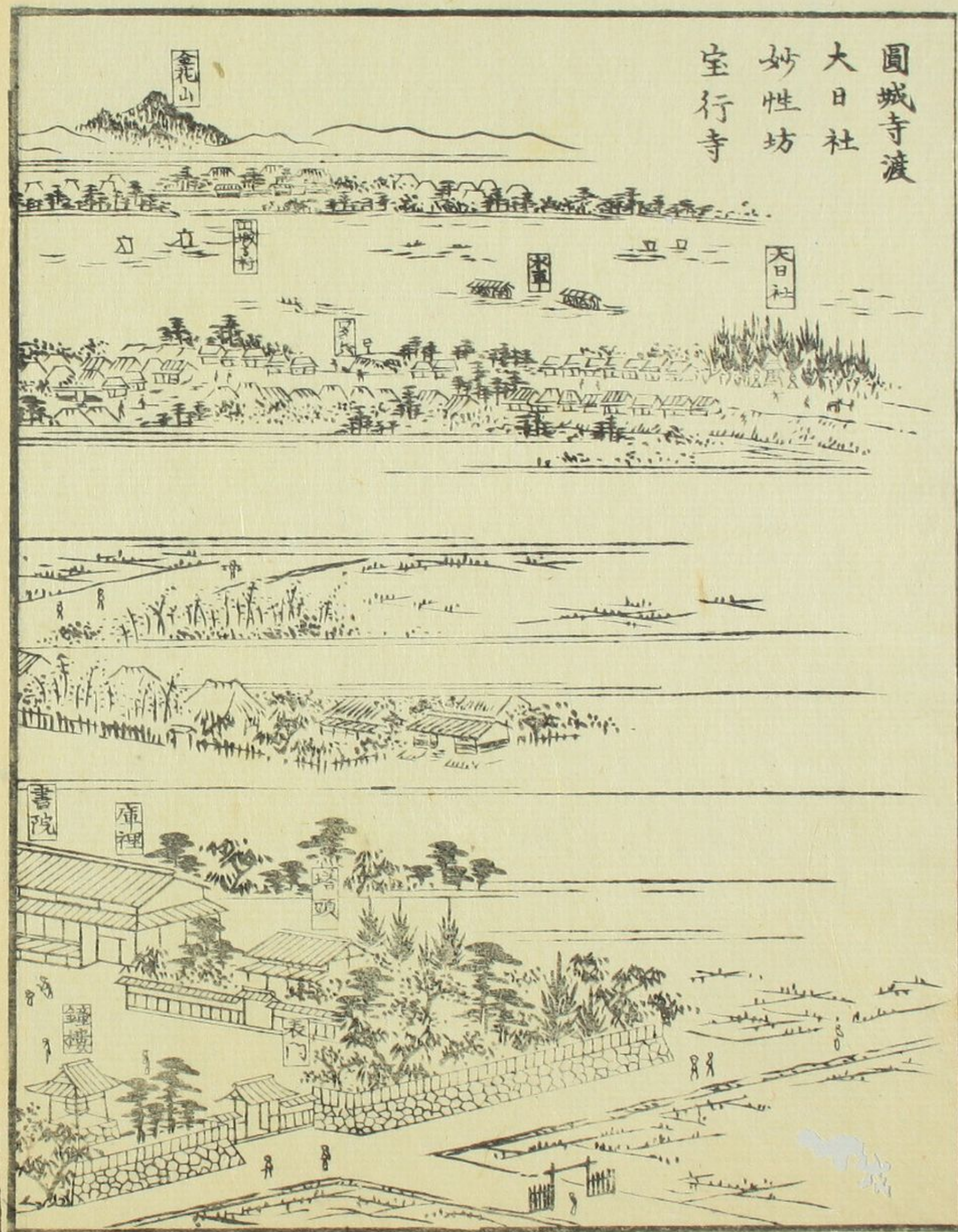
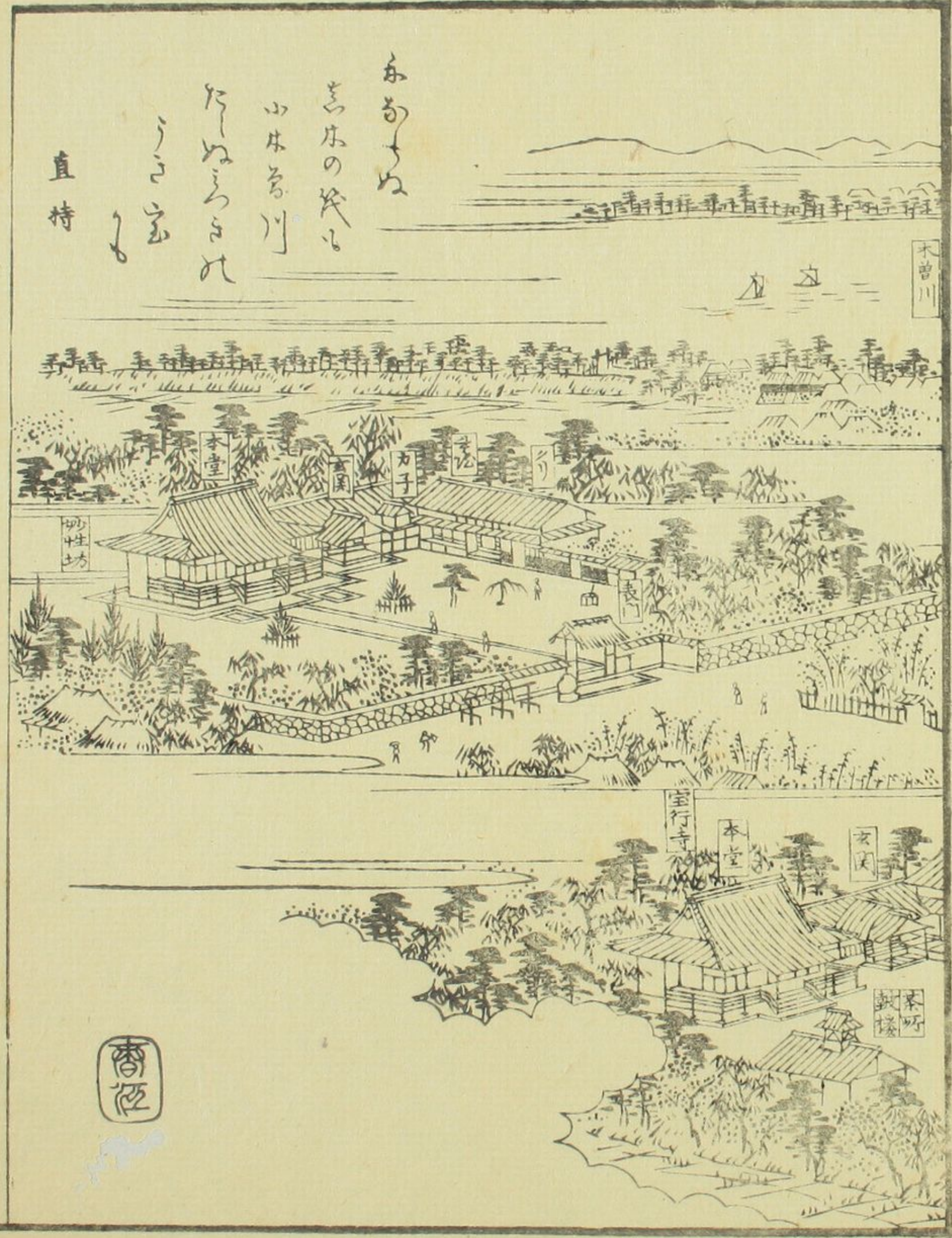
如来善光と脊負て  
 黒田里と獲りて同

香徑











樂記小嘉慶二年五月九日土岐左馬助於尾州黒田合戰場討死

北方里

康正二年造内裡段鐵國投引付小壹貫八百廿五文伊賀美作守殿尾張國堀津北方段鐵

北方渡

北方より長波の森増村(の松原)とて森増寺の傍と云

寂光山河野妙性坊

北方村にあり一向宗東派京都本山の直末とて河津九門後

河津九門後の一とある

大谷忠勝源也

龜登山寶行寺

同村小川一向宗東派京都本山直末の内陣一家より其川左近大夫親康の三男近江

名産

田所本名川あり白くそのらひにが初より早春まで喜水とて

東郷侍從舊居

同村あり幼名長谷川竹とて信長公の小姓とて

大日社

同所本名川の堤の上にあつた初めは

大洗磯前茶師菩薩神社

又美濃國池田郡弥勒菩薩神社

大日

同所本名川の堤の上にあつた初めは

大洗磯前茶師菩薩神社

又美濃國池田郡弥勒菩薩神社

大洗磯前茶師菩薩神社

又美濃國池田郡弥勒菩薩神社

大洗磯前茶師菩薩神社

又美濃國池田郡弥勒菩薩神社

大洗磯前茶師菩薩神社

又美濃國池田郡弥勒菩薩神社

大洗磯前茶師菩薩神社

又美濃國池田郡弥勒菩薩神社

大洗磯前茶師菩薩神社

又美濃國池田郡弥勒菩薩神社









玉の井古覧

あつらひのしるし玉の  
のあつらひのしるし

泰蔵雅経卿

明日香井和号集

あつらひのしるし

油の玉の井れ水





玉の井の里  
加茂社

秋のあけ  
すきほら  
まのあけ  
あけ  
玉の井の  
水  
磯足



あけ  
まのあけ  
あけ  
玉の井の  
水  
秋隆







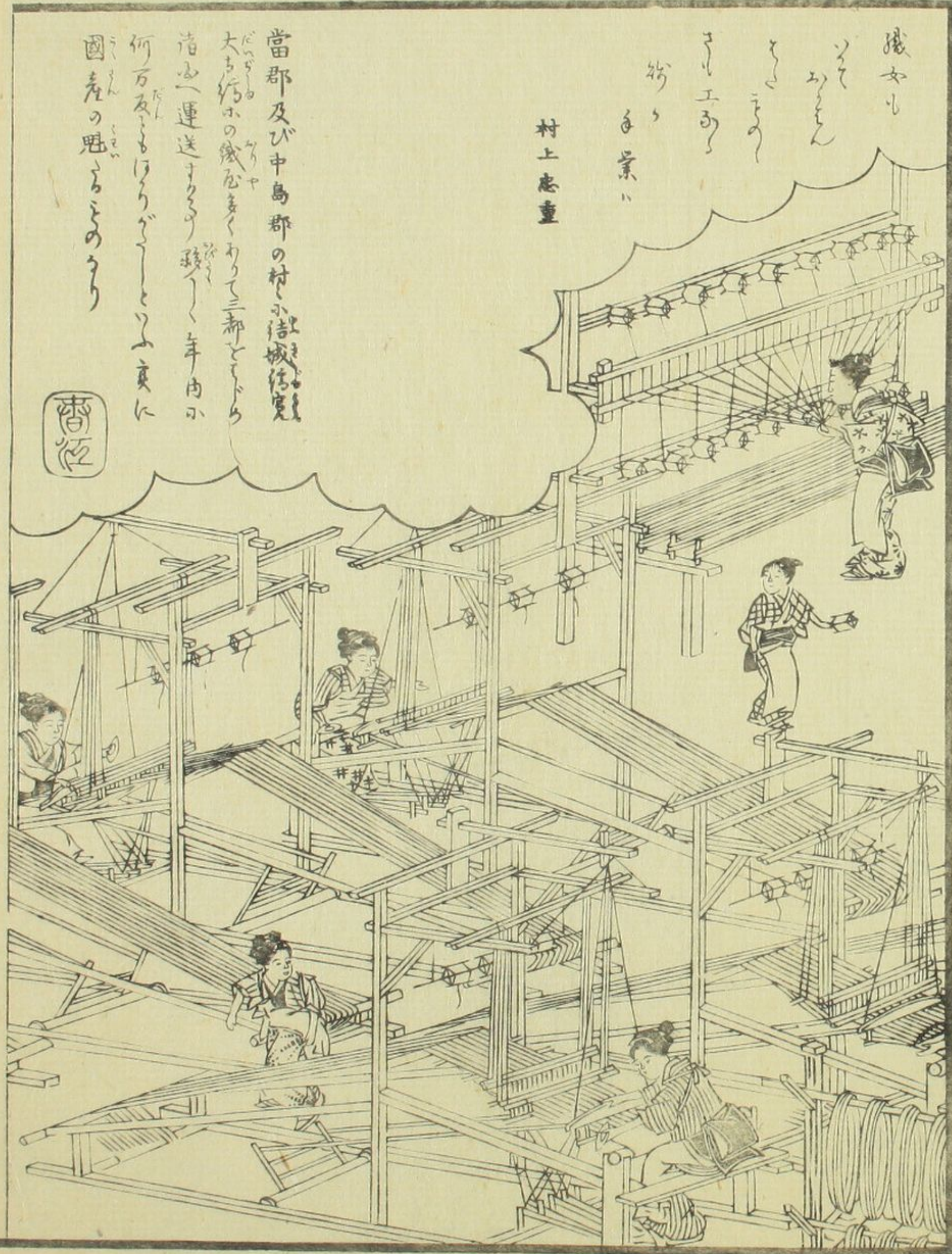


當郡及び中島郡の村に結城綿  
 大古の織を多くありて三郡とて  
 皆心運送すべく、幾く年内の  
 何万石も送り給ふと云ふまに  
 國産の思ふところなり

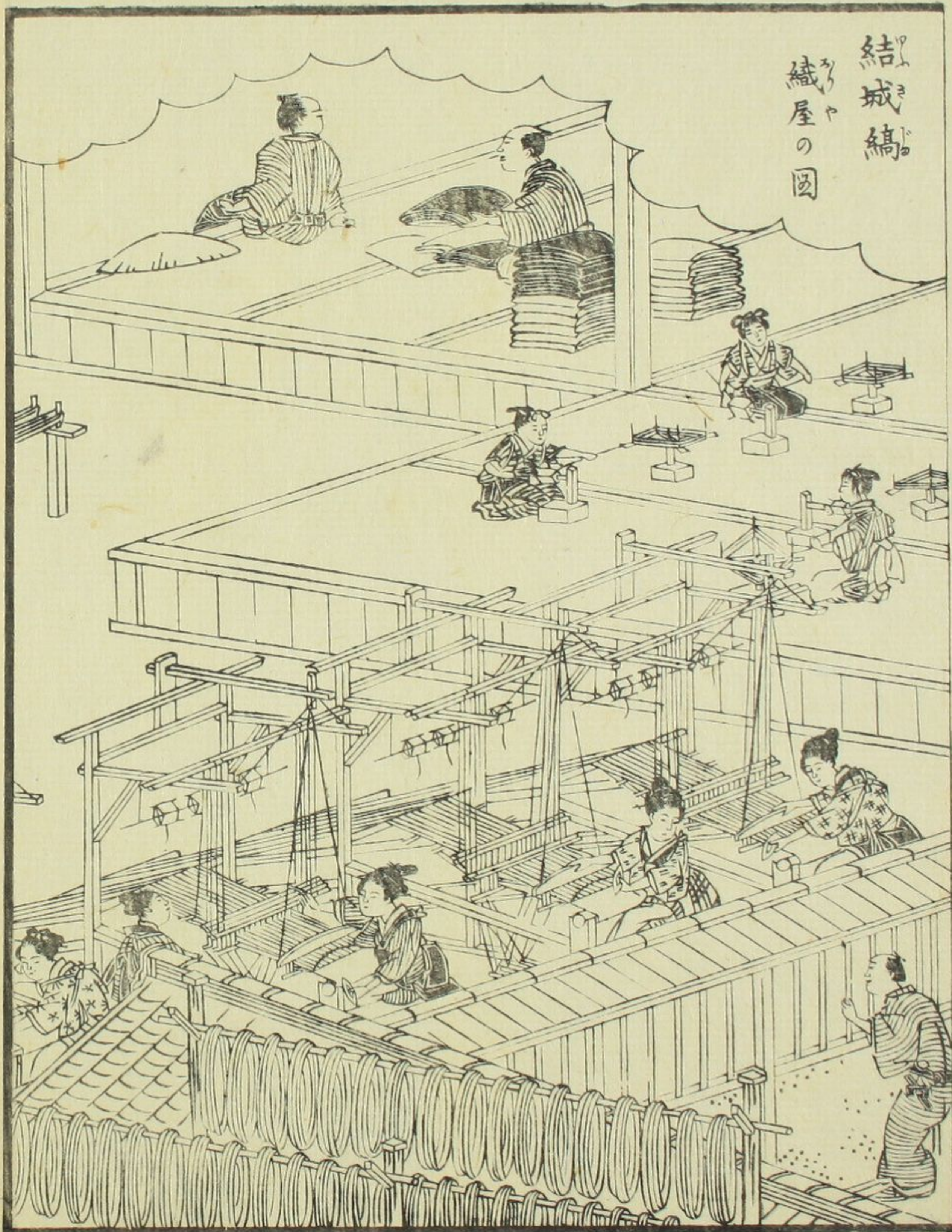
香江

村上忠重

張女  
 ソノ  
 エア  
 街  
 白業

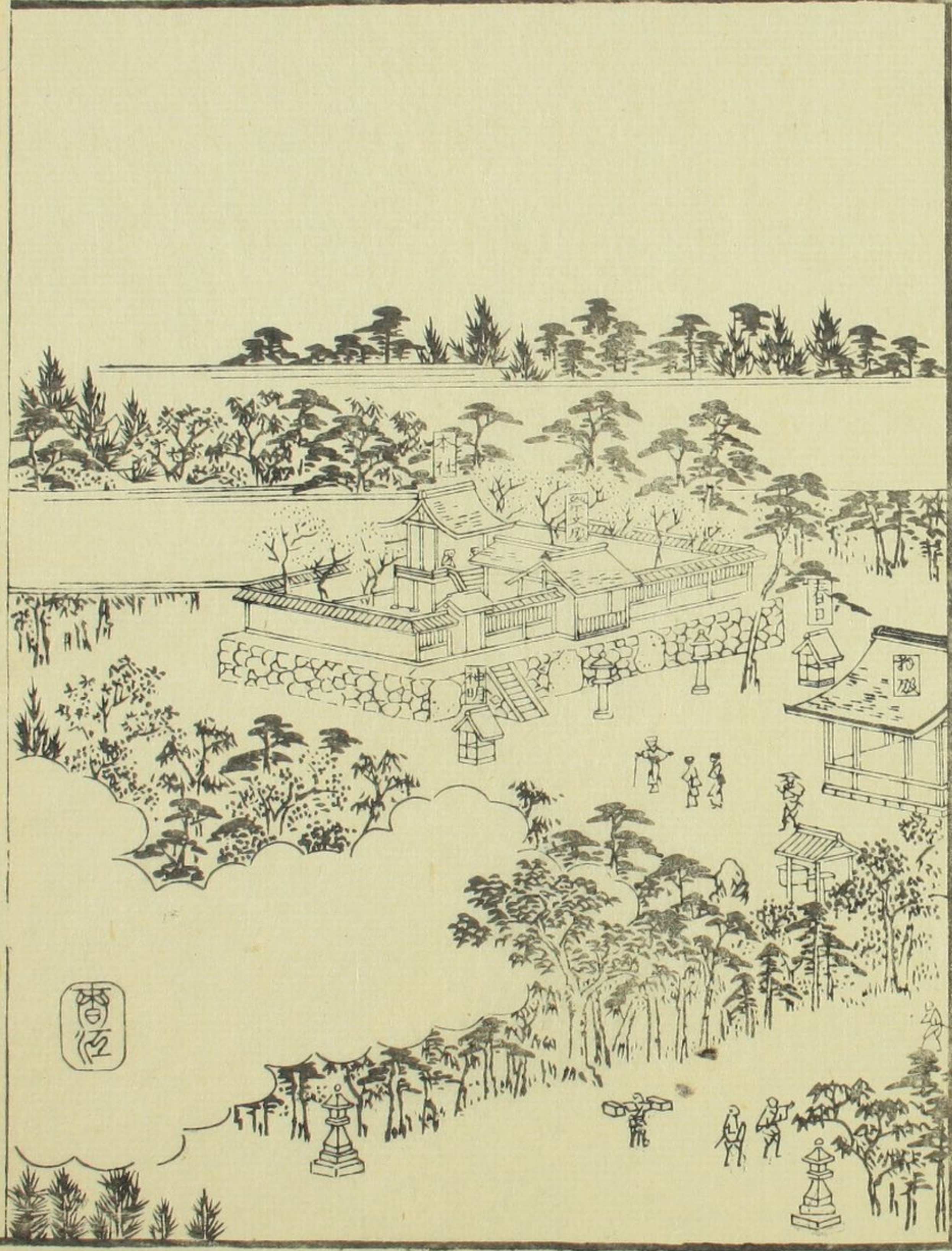


結城綿  
 織屋の図



五ノ十二





伊富利部神社

今や程々け

何々々々

ソゆり一乃

沐のまのあ

わうせまのり

史雄









榮泉寺

巖

教了花や

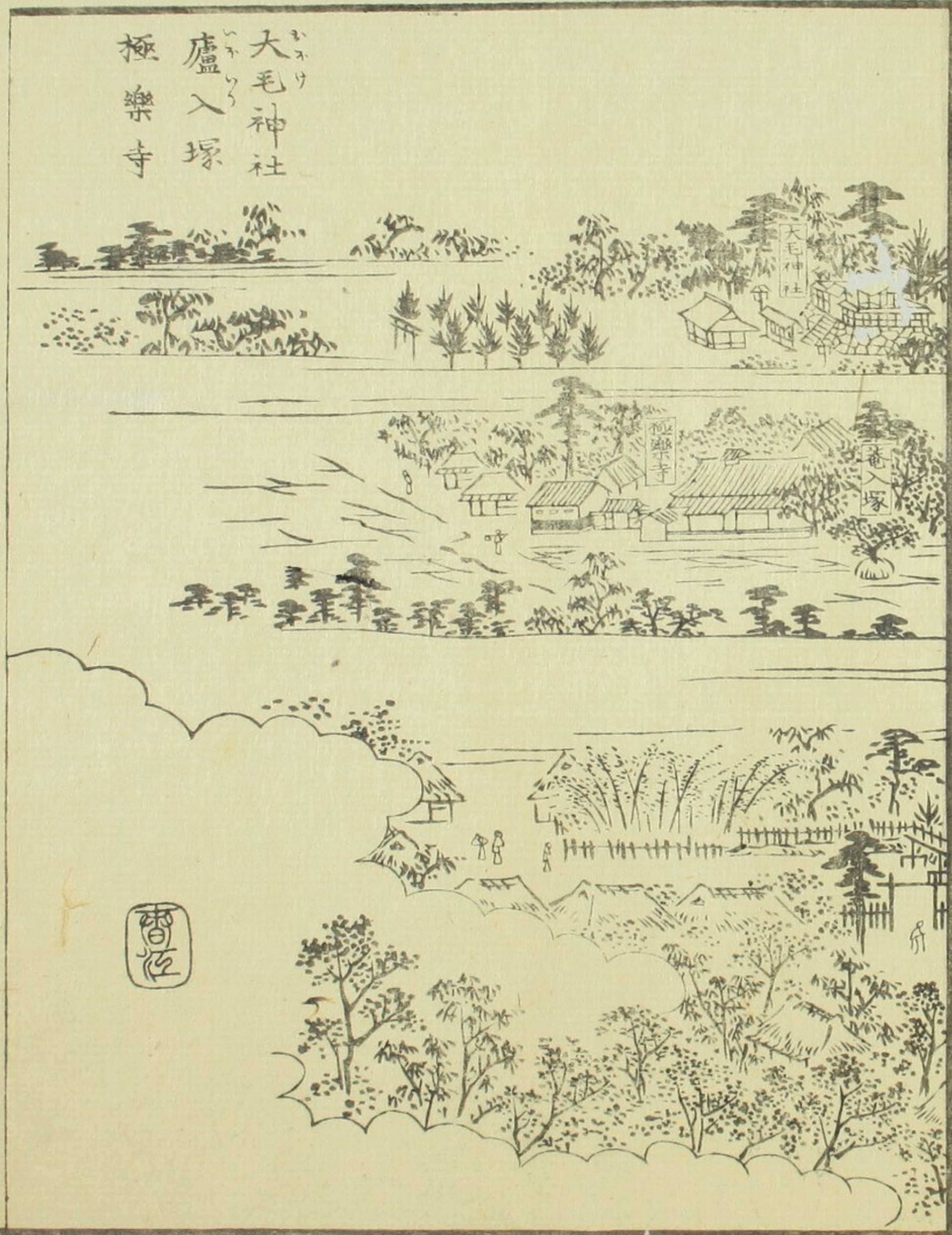
今朝山と人

高木屋

梅谷



大毛神社  
廬入塚  
極樂寺



香印



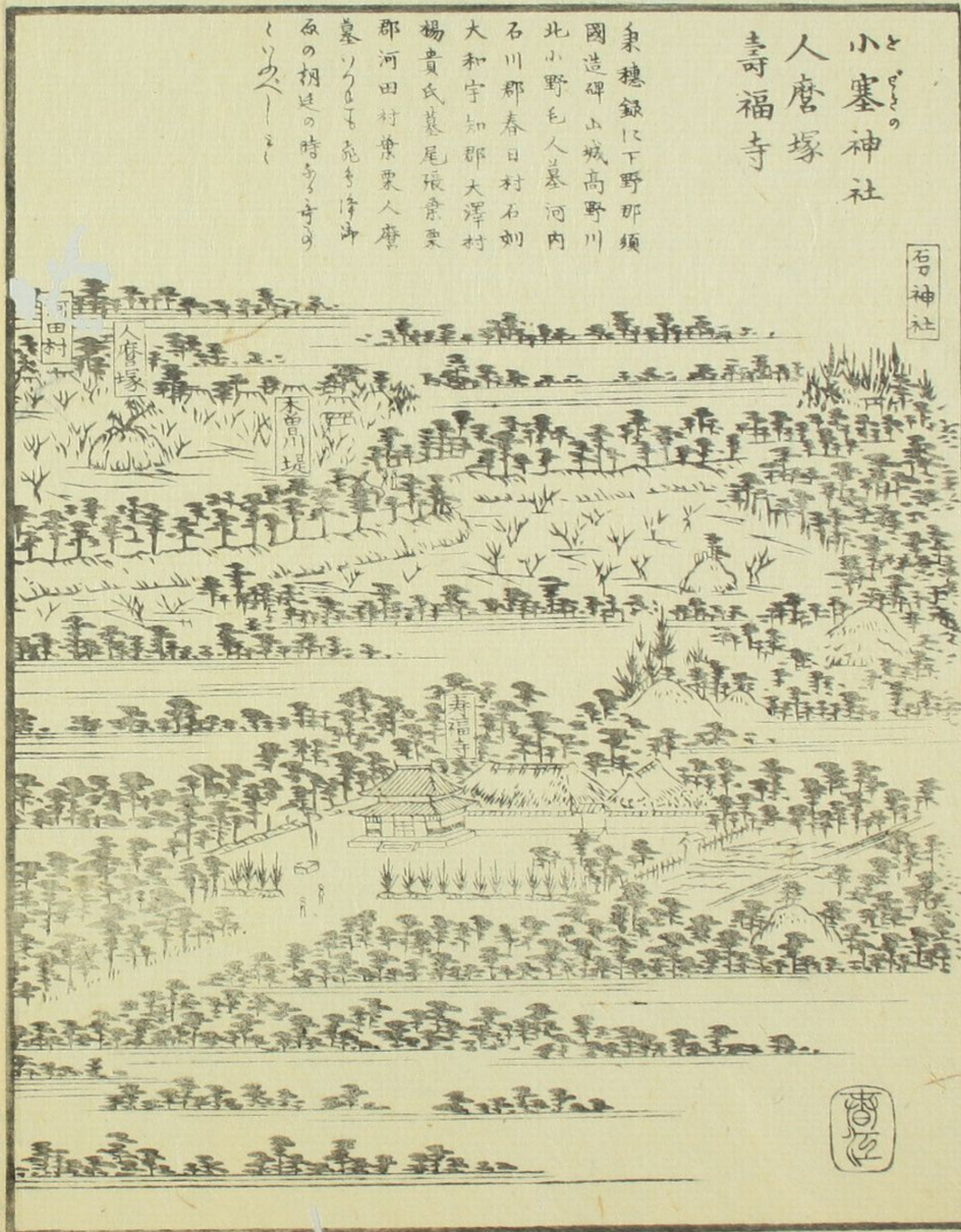




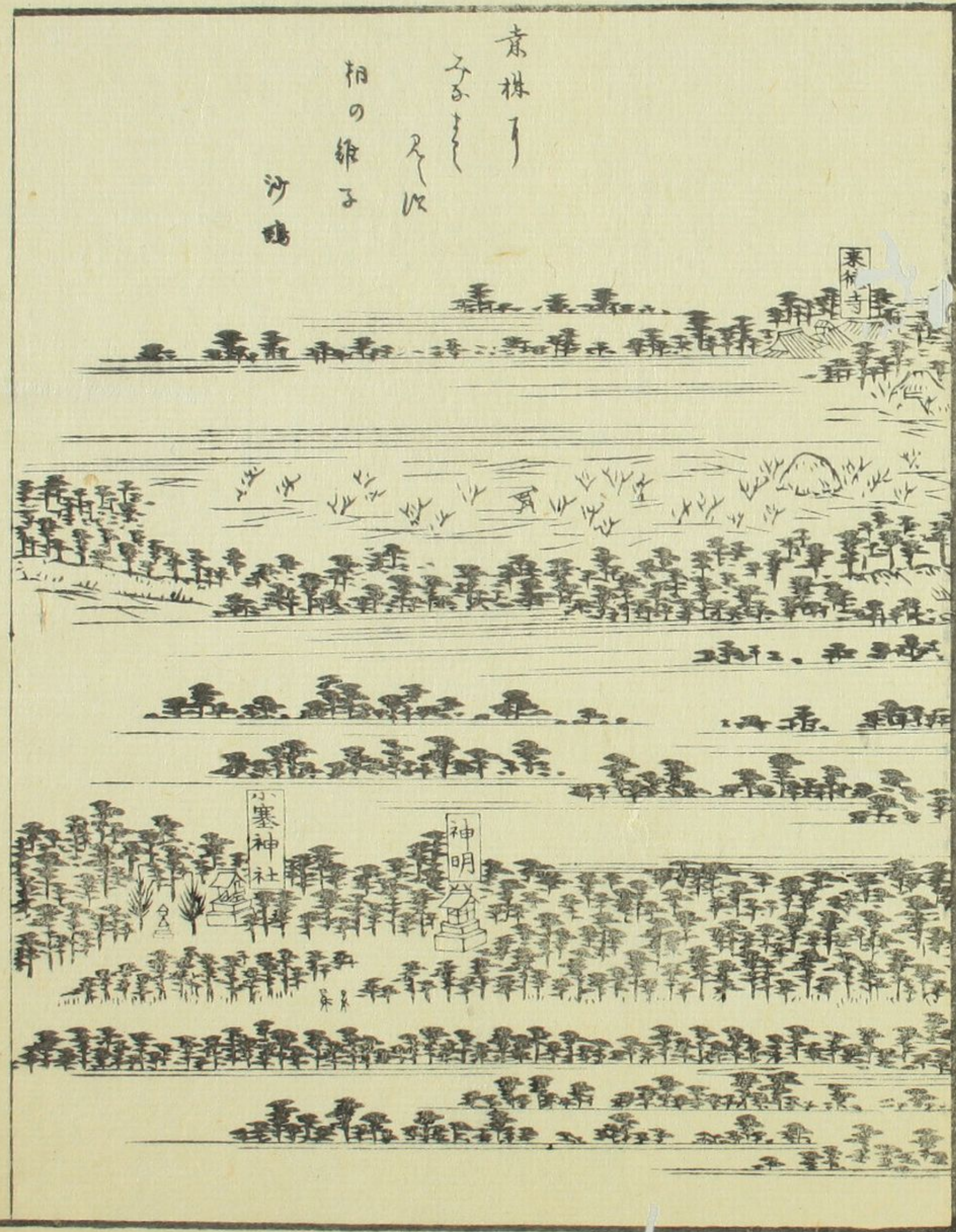
とろの  
小塞神社  
人磨塚  
寺福寺

石神社

東穂録に下野那須  
國造碑山城高野川  
北小野毛人墓河内  
石川郡春日村石如  
大和守知郡大澤村  
楊貴氏墓尾張桑原  
郡河田村桑原人磨  
墓ソウロも花も津沖  
の相違の時多きなり  
くソウロ



赤林  
みま  
みま  
相の維子  
沙嶋









小塞弓張子ノ墳墓ノ一文化十四年  
丑の秋も山とくらしく石根と露出せり

万松山妙光寺

尾野村(乃)協済宗  
京都心寺(乃)

寺傳小文和三年相州漁倉倉免

ちの義海和尚草創天文年中妙心寺の笑溪和尚再建中興

寺室に古澄文ありて寄進妙光寺事合衆栗郡内野村篠野四至隈東鎮  
守天神古寺領同位牌田等奉寄進當寺也若子孫々之中政建礼

煩者可為不孝之義也因可守此古依寄進狀如件  
永和戊午四年九月十一日橋康武

石刀神社

尾野村にあり武内之社也本國帳集況ふ由法より今官社の列に入り  
社中中島郡小町と云ふを本國帳集況ふ由法より今官社の列に入り

宮田天王社

宮田村のうちに四谷にありて宮田村の本主神と云はれ昔宮田村の任人三橋  
某表手尾國某あるものこれと初法中例祭ハ八月八日九日御湯の社回

上郡田圃菜木

田圃及び母お那の村民昔より村毎に蠶を飼ひ多し  
其の代は代々田圃小菜を種より清村に多し

此三日廿四日馬の祭教止と云ふ村のうちに本は南地四谷生原と云ふに  
の馬ハ三橋某よりかす古例なり此は社を初法中例祭ハ八月八日九日御湯の社回  
村中一統より聖と云ふ三橋の先祖ハ元禄年中の人として有道と号しは社保元禄修葺の標記  
ありて今もその跡あり宮田村なり

宮田村及び  
近村養蠶  
勉勵略圖



養蠶秘録  
人小婦  
蚕かしの女  
賢あらし  
曉臺



石刀神社



裁定  
印

其二  
製絲の圖



五ノ二十

香江

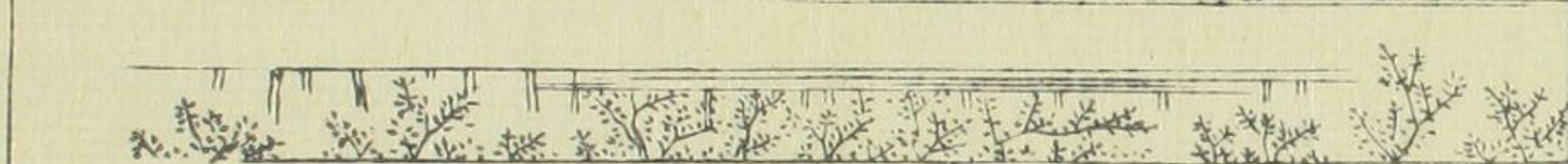




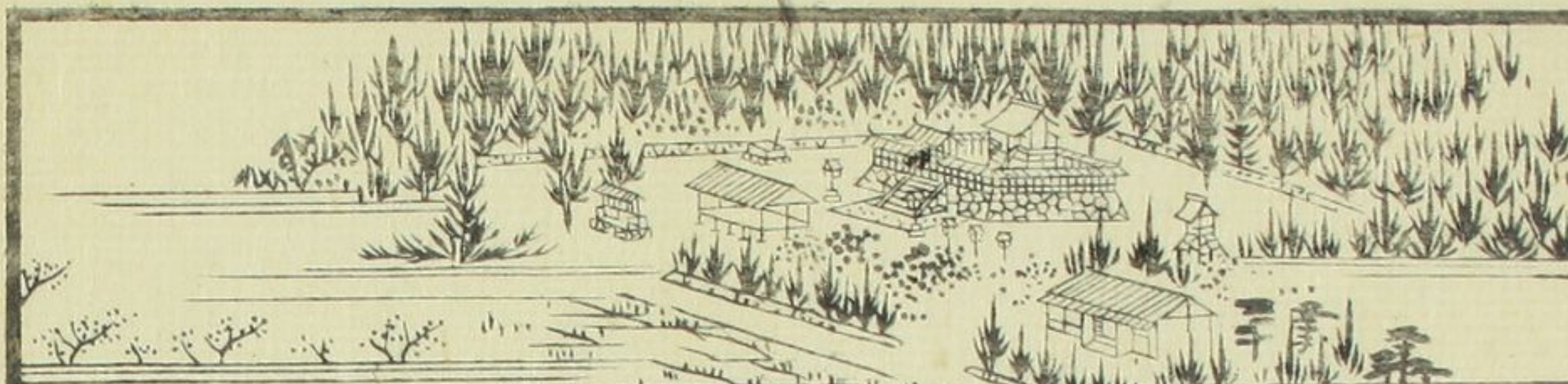


桑上郡  
林

新六帖  
の  
を  
り  
て  
記  
す  
る  
は  
桑  
の  
葉  
を  
採  
り  
て  
製  
す  
る  
事  
也  
元  
俊  
朝  
臣



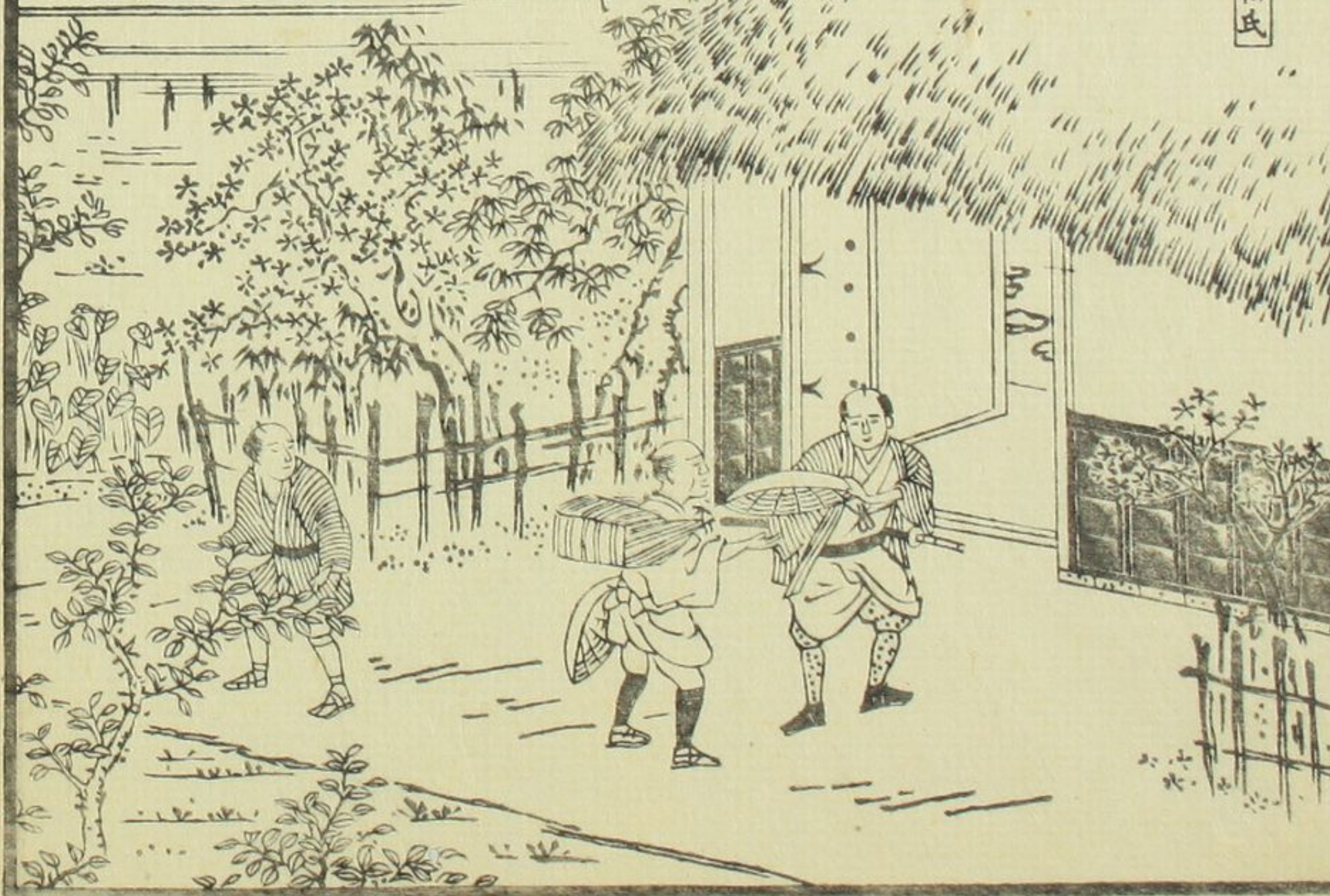
五元集  
桑上郡  
桑林  
其角  
尾



宮田天王社



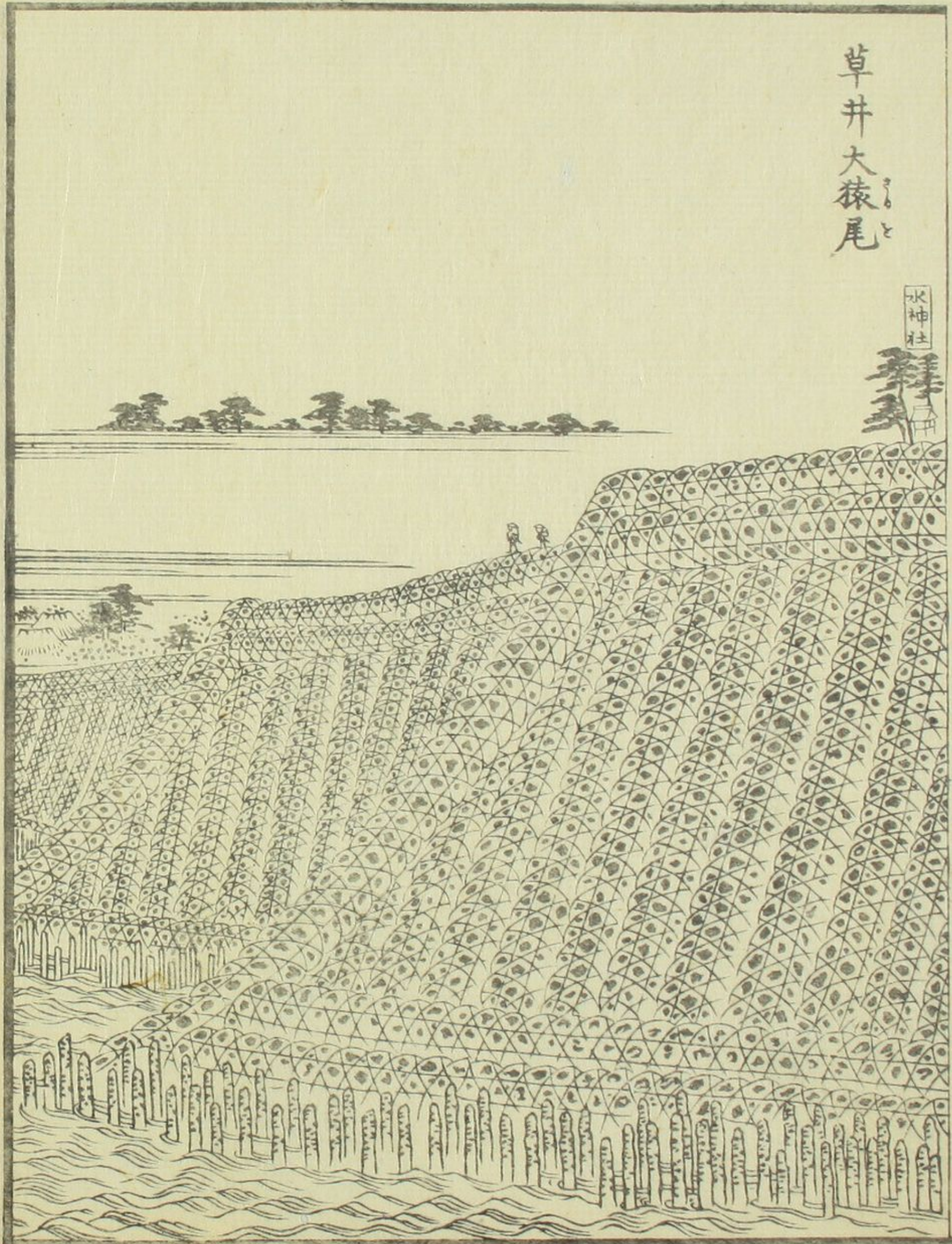
三輪氏





草井大猿尾

水神社



五ノ六三

亦方川の水激流して  
 此の境やもすれハ  
 決り易き大造あり  
 石を亀に大岩とて幾度も  
 積上げ其長三十餘間  
 水下へ斜に注がせしめ  
 其石を亀に水と除境の  
 平安をなせしむる也  
 かく石を亀と注出せると  
 猿尾といふ方云々  
 石を亀ハ諸国に多し  
 一ノ二もあつたに大石を  
 介ふめる半か一近隣宮田  
 村麻子出村かといふ  
 俗小千間猿尾と云ふ

香





河沼舊郷

後醍醐村の地なりて今河沼と云ひあり彦く  
河沼の地なりて今其地と云ふなり  
仙覚律師が

万葉集抄ニ尾張風土記と引いていふ葉栗郡河島社在河沼郷  
河島村奈良官御宇 聖武天皇時凡海部忍人申此神化為白  
鹿時々出現有詔齋為天社云云民部省圖帳小河沼公穀二千  
五百六十七束有餘假粟一千三百九十五丸貢粟綿班系鞍馬  
具木竹之工又以牧馬克國司之奉

眞入天神社

小松村あり今熊野社と稱小松入り  
帳に徒三位眞入天神と記す古社と云  
内村あり臨濟宗笹地村妙光寺末寺傳  
租税のこめ年々交吏奉ふに古寺の別殿  
眞名代塚と号す今境内に古塚あり  
美場山号と法輪山といふ後郷文字に改め  
といひ然りて天文九年同郡藤村の妙光寺  
小あ

法隣山文永寺

眞名代塚と号す今境内に古塚あり  
美場山号と法輪山といふ後郷文字に改め  
といひ然りて天文九年同郡藤村の妙光寺  
小あ

名産年奠

本居川とて夏の頃の年奠  
く川とて早井村麻子島村也の形毎に  
張切細又とて早井村麻子島村也の形毎に  
とて早井村麻子島村也の形毎に  
返下

文永寺

















曼陀羅寺軍議

岐阜攻の時諸將  
 先元保の寺内  
 小笠原軍評決  
 ありし他田輝政等  
 入廟へ行くと家老  
 某ひと小笠原  
 何やん私清  
 うは輝政とこそ  
 座もゆきも座  
 ちもとむし行  
 四の流りとこそ  
 としと受院  
 殿のの方丈持  
 若和尚其時  
 小僧を茶  
 の於住か  
 右の極も  
 尺とわらば



けりともん又諸  
 將川越の  
 派せとび  
 比併水の  
 あはる火  
 備と  
 へや彼傍  
 者にお滑  
 せと陸虎  
 かんり





法燈の光りを傳す院にて院との致産と相傳ひ傳ふ  
 かろえにいふ法師の法の水ふくやせにらるりおきん  
 上人の之に

法の水ふくれの本もあきえにむすふ繁るはふふせ

かきて正東野のまゆりていひゆりて一日西にわらふきんと法門をわくゆり  
 南にむすふゆりてまゆりておきんあせりてえりゆりて又せとおと心まけせと  
 永く思ふ執とやうりなんつうまてうハチの表里にまゆりて三業の罪と念うゆり  
 べき志りて又あきあきもをれとゆりてやあきあき日の際小徹言一巻のまを  
 領しゆりて塵のかうの心地とすれ

名産 飛保茶

前飛保後飛保の介を村  
 ありおきんていひゆりて

河俣上天神社

河俣村あり今ハ剣社と称す本國帳ハ中島郡後三位河俣上天  
 神とゆり古社ありけ地むりハ中島郡ハ分りてハ帳ハ

平泉山勝宝寺

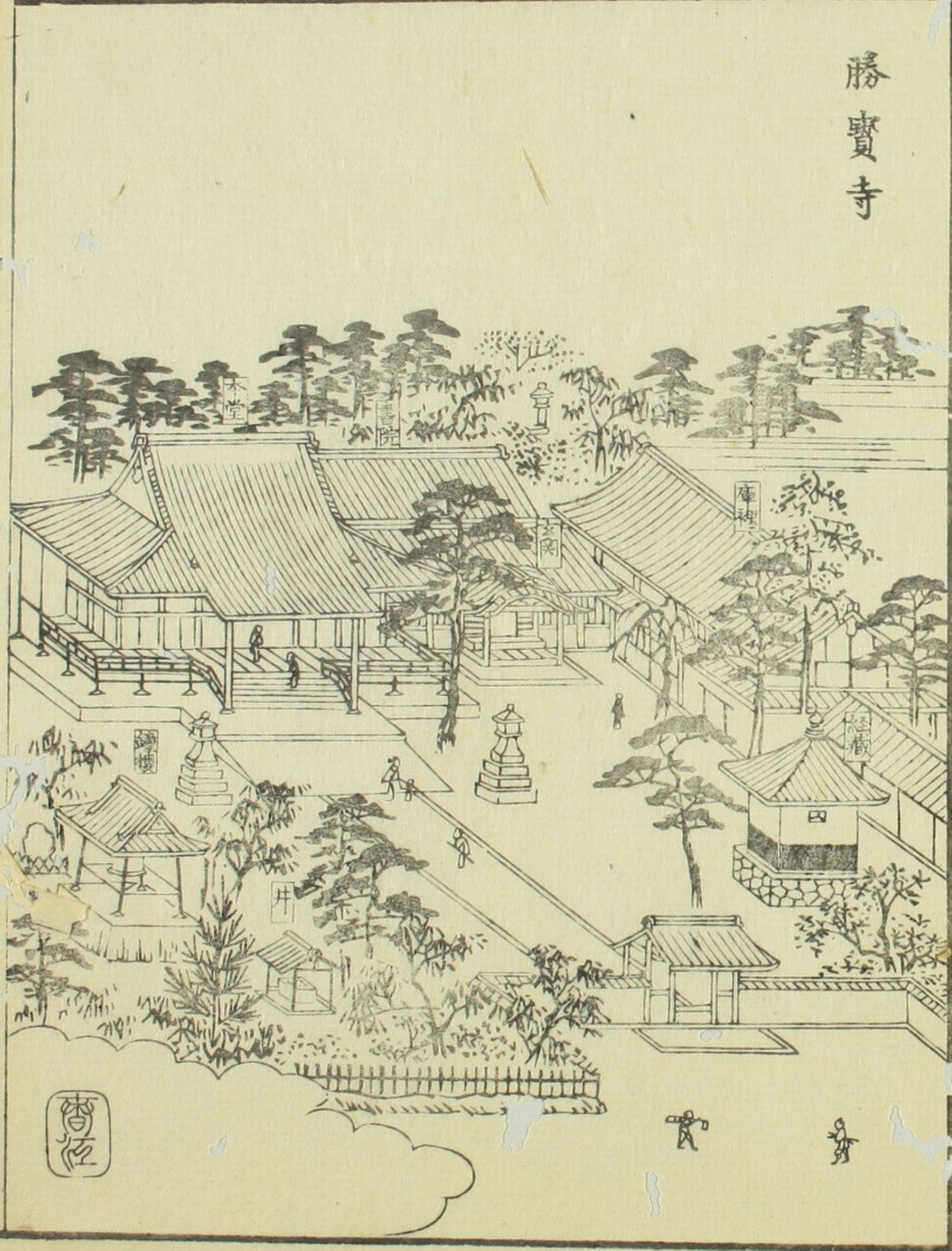
同村あり一向宗東派京都本山直末とて院敷ありあちハ院  
 部村の産りて俗姓ハ加藤某とて者ありて建長年中の創建開山ハ魁龍坊といハ院

人より仰ふところの聖人真象の十字名号とて室とせり大谷を跡縁にぬ栗郡河  
 烟勝宝寺ハ院部七箇寺の其一なり中古津門徒の子孫起立する所なりとありハ  
 いづる傳ふや洋なり

如来堂運善寺

大日比村あり一向宗東派京都本山直末院部七箇寺の  
 ありて往昔ハ天台宗なりとありの住持真長坊親善とて人々

勝寶寺



香



河俣上天神社

神杉の

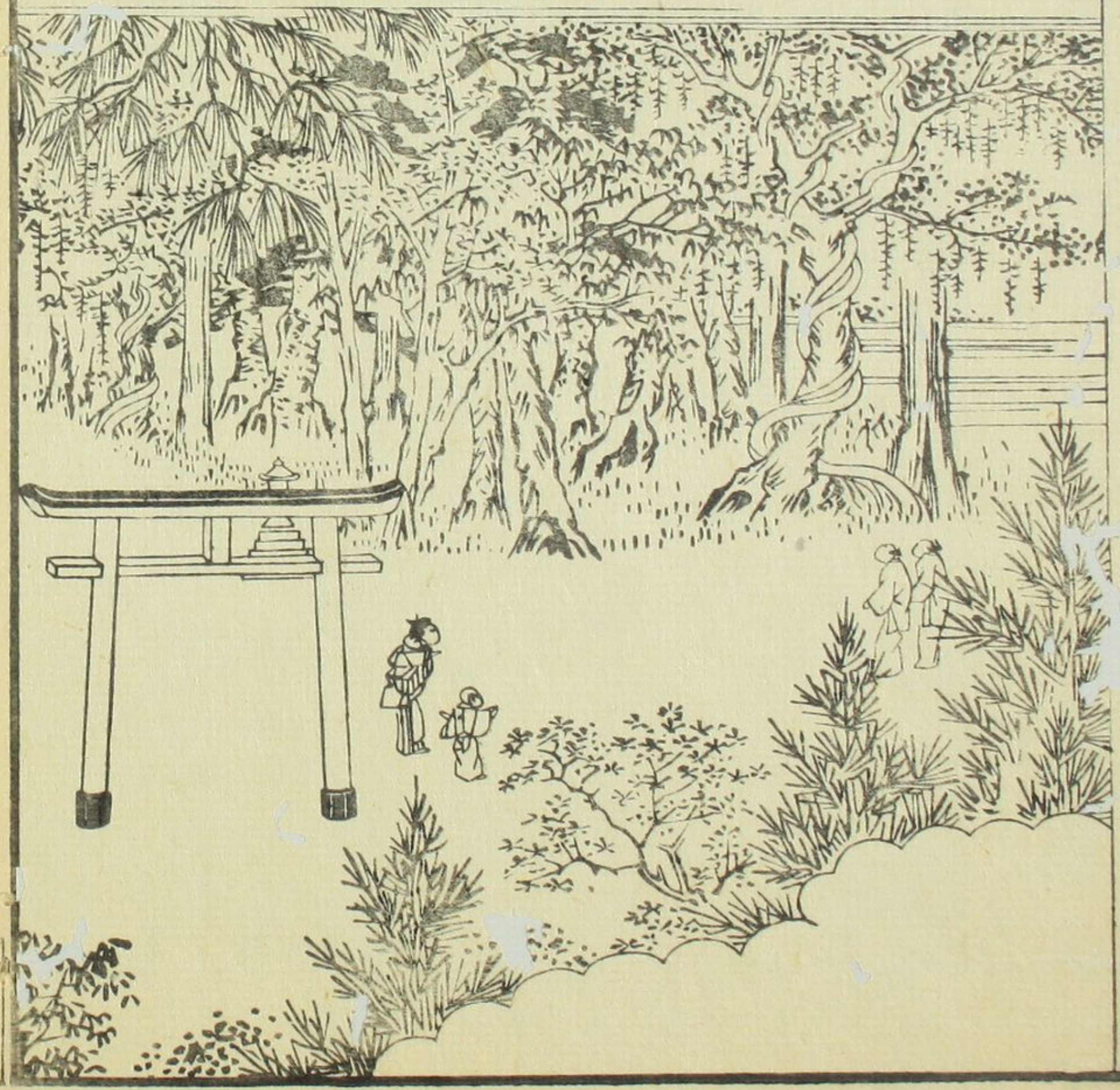
まきと

まきと

まきと

まきと

夫部典則



五ノ三十一

まきと

まきと

まきと

言丸



言丸



由依一今の京に改むるまの入信村の事ありて、  
 常陸国大曾根常福寺の祀よりひきかへて、  
 の一より倭僕三才國會の祀よりひきかへて、  
 常陸国大曾根常福寺の祀よりひきかへて、  
 の一より倭僕三才國會の祀よりひきかへて、

若栗こ 舊郷 國帳小栗栗郡若栗と凡々名抄及び民部省

若栗こ 橋 同村のありて若栗の旧郷の

若栗神社 同村のありて今 延喜神名式小若栗神社本國帳小從三位若

栗天神と云ふなり 祭神ハ羽栗臣の祖神 天押帶日子命也 民部省

若栗明神神田三十有餘東光國司之受税 社人 松本氏ハ若栗神社の同地にありて若栗工

和銅二年所祭饒速日命也 西方院のまゝなり 空曆十三年より名を給七寺のまゝなり 若栗工

奈神社の社務少く久しき梵刹なり 亂世の衰廢日と云ふ十年 南西北の

宇夫須那神社 同村にありて今 延喜神名式小宇夫須那神社と凡々

本國帳小從三位宇夫須那天神と云ふ官社なり 祭神ハ

行天皇の御むすえ五百城入姫皇女より御母八坂入姫ハ尾張大

海媛の御孫と云ふ其縁ありて皇女ハ國々生れたり 注式に尾張

若栗神社  
 若栗橋



うもつて  
 いふ小川の  
 橋より  
 むすえを  
 名と抄りて

志近

齋徑



宇夫須那  
神社



香

景栗郡宇夫須奈式内手カ雄命と云ふせるハ系神ニたぐひしれバあやとりとナリ行餘  
隨筆に西宮記と引て尾張國栗栗郡若栗郷小宇夫須奈神社あり廬入雄の誕生の地とて  
風土記に載るとありと云ふせうされど普通の  
西宮記にこの事あり然る本小ありや尋ふ

八竜社 浅井村にあり府志小式内中島郡浅井神社とこの社と一既小本国限集説小も  
考へるより今中島郡小庄に此社と式内の社と一  
を

浅井村接骨醫師 同村にあり森林平と通称すは家より令彦キ身等と療治はせに  
類ひ稀なる一家の事御して尚ほハまゝありをむぬ徳治よりも本  
了て療治せむとむらにハあはれはせむとよるあり  
医師の姓名とよるの稱して俗に浅井の骨接と通稱せり





五ノ三十四



